

参考資料

平成24年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
都 市 整 備 部

新規事業及び重要事業総括表

I 総 額

【一般会計】

区分	平成24年度	平成23年度	伸び率
予算総額	25,919,305千円	28,518,650千円	△9.1%
一般会計構成比	1.5%	1.7%	—

【埼玉県県営住宅事業特別会計】

予算総額	18,374,347千円	19,737,854千円	△6.9%
------	--------------	--------------	-------

【参考 公共事業の予算】

事業名	平成24年度予算(千円)	平成23年度予算(千円)	増 減 (千円)	伸び率
土地区画整理	1,666,000	1,675,400	△9,400	△0.6%
補助	1,607,000	1,506,400	100,600	6.7%
単独	59,000	169,000	△110,000	△65.1%
公園(補助)	1,374,200	1,414,000	△39,800	△2.8%
合 計	3,040,200	3,089,400	△49,200	△1.6%

II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

1 誰もが安心して暮らせる都市づくり

P 1	新規	緊急輸送道路閉塞建築物耐震化の促進【建築安全課】	124,939
P 2	新規	緊急輸送道路上の公共下水道マンホール耐震化の促進 【都市計画課】	25,000
P 3		土地区画整理事業の整備促進【市街地整備課】	1,955,694
P 4	新規	県営公園の防災機能の強化【公園スタジアム課】	64,000
P 5		住まいのセーフティネット・県営住宅の整備 【住宅課】	7,789,940

2 個性と魅力ある元気な都市づくり

P 6		本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業の推進 【市街地整備課】	991,572
P 7		つくばエクスプレス沿線地域整備の推進 【市街地整備課】	5,236,906
P 8	新規	しらこぼと公園ホワイトビーチの整備 【公園スタジアム課】	26,000
P 9	新規	大宮公園小動物園の魅力アップの推進 【公園スタジアム課】	40,000

3 住みやすく環境にやさしい都市づくり

P10	県営公園整備の推進【公園スタジアム課】	3, 2 8 7, 5 1 4 (一部再掲)
P11	新たな森づくりの推進【公園スタジアム課】	1 1 6, 9 7 2 (一部再掲)
P12	一部新規 子育て世代への住まいの応援【住宅課】	9 2 5
P13	新規 既存県営住宅のバリアフリー化の推進【住宅課】	8 6, 2 9 5

緊急輸送道路閉塞建築物耐震化の促進

担当 建築安全課 震災対策・構造指導担当
内線 5531

1 目的

災害時に救命活動や物資輸送を行う緊急輸送道路の機能を確保するため、沿道建築物の耐震化を図る。

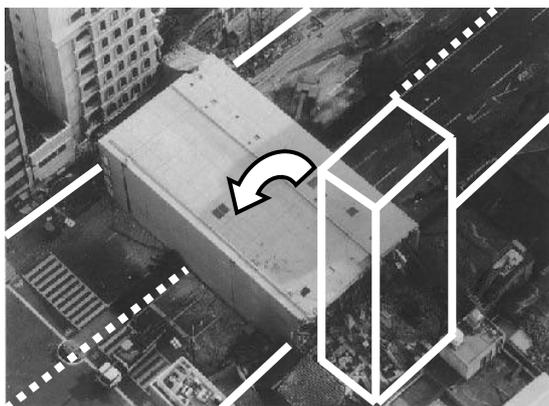
2 事業の内容

(1) 耐震改修補助制度

	県所管※1			10市所管※2	
	補助率	上限	予定数	上限	予定数
診断	2/3	300万円/棟	9棟	市負担額以内かつ 150万円/棟以内	11棟
設計		4,400万円/棟	5棟	—	—
工事			3棟	—	—

※1 10市所管（※2）及びさいたま市を除く全域

※2 川越市、熊谷市、川口市、所沢市、春日部市、狭山市、上尾市、草加市、越谷市及び新座市



阪神・淡路大震災（神戸市中央区）

(2) 緊急輸送道路閉塞建築物耐震化促進協議会

県内の建築物耐震化を所管する市とともに、情報交換及び促進策の検討を行う。

3 平成24年度予算額 124,939千円

緊急輸送道路上の公共下水道マンホール耐震化の促進

担当 都市計画課 公共下水道担当
内線 5 4 4 2

1 目 的

緊急輸送道路の機能を確保するため、液状化が想定される地域にある県管理の第一次特定緊急輸送道路において、公共下水道マンホールの浮上防止対策を図る。

2 事業の内容

(1) 市町村への財政支援

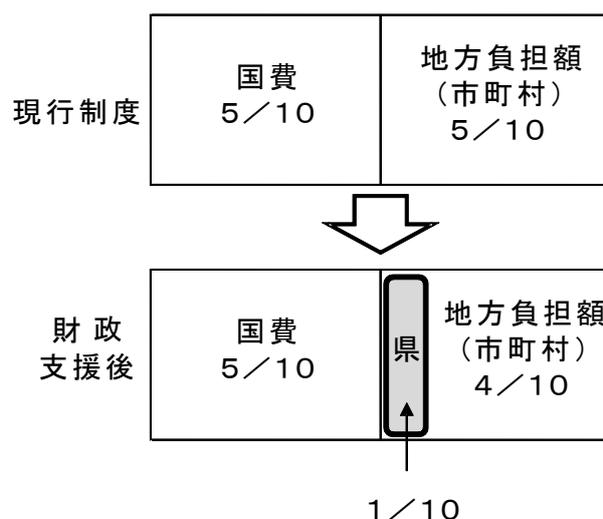
マンホール浮上防止対策への助成 → 200基

対象：県管理の緊急輸送道路がある14市町※

※ 川越市、川口市、加須市、狭山市、羽生市、朝霞市、和光市、新座市、久喜市、富士見市、蓮田市、ふじみ野市、三芳町及び白岡町

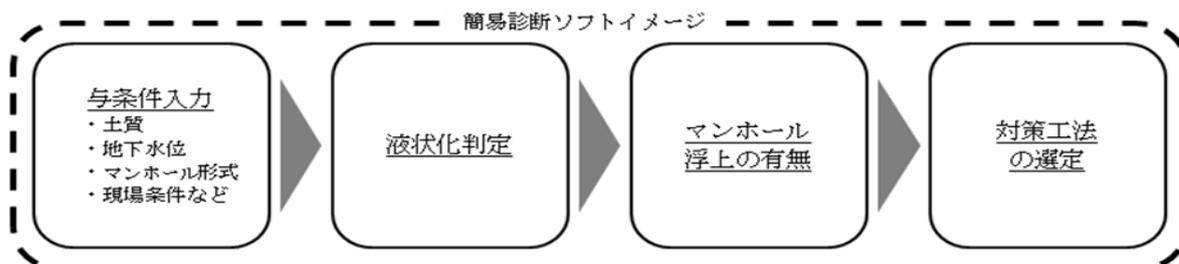


東日本大震災（千葉県浦安市）



(2) 市町村への技術支援

県がマンホール浮上防止対策簡易診断ソフトを作成し、提供する。



3 平成24年度予算額 25,000千円

土地区画整理事業の整備促進

担当 市街地整備課 区画整理担当
内線 5380

1 目的

県民の安心・安全な生活を確保するため、密集市街地や都市基盤が未整備な市街地を土地区画整理事業により計画的に整備する。

2 事業の内容

事業効果の高い組合施行11地区及び公共団体施行7地区に、「選択と集中」の考え方のもと重点投資を行う。

○組合施行地区

分類	都市名	地区名	面積(ha)
最重点地区	和光市	中央第二谷中	25.5
	桶川市	坂田西	51.1
	桶川市	下日出谷東	36.8
重点地区	川口市	戸塚東部	33.7
	吉川市	吉川中央	74.8
一般地区	羽生市	岩瀬	113.2
	上尾市	大谷北部第二	71.3
	上尾市	大谷北部第四	48.7
	朝霞市	根岸台五丁目	13.8
	桶川市	上日出谷南	64.6
	宮代町	道仏	32.7

○公共団体施行地区

都市名	地区名	面積(ha)
熊谷市	上之	53.0
川口市	石神西立野	99.1
川口市	安行藤八	68.1
川口市	里	80.7
東松山市	高坂駅東口第一	70.8
越谷市	西大袋	125.9
八潮市	西袋上馬場	39.0

3 平成24年度予算額

1,955,694千円

(1) 組合等土地区画整理事業関係 1,666,000千円

(2) 公共団体区画整理事業県道整備費 289,694千円

県営公園の防災機能の強化

担当 公園スタジアム課 公園計画・事業担当
内線 5 4 1 1

1 目 的

災害に強いまちづくりを推進するため、「東日本大震災」の教訓を踏まえ、県営公園における防災機能の強化を図る。

2 事業の内容

県南部で住宅密集地に隣接し、広域避難場所となる「所沢航空記念公園」をモデル公園として防災関連施設の充実を図る。

(1) 自己発電型照明灯の設置

夜間停電時の安全な避難のための設置

(2) マンホールトイレの整備

避難所の衛生確保のための整備

(3) かまどベンチの設置

避難者の炊き出しなどのための設置

(4) 防災施設案内板の設置

円滑な避難のための設置

3 平成24年度予算額

64,000千円

自己発電型照明灯	マンホールトイレ	かまどベンチ
		

住まいのセーフティネット・県営住宅の整備

担当 住宅課 住宅経営担当
内線 5589

1 目的

住まいのセーフティネットを確保するため、住宅に困窮する高齢者、子育て世帯などが安心して住むことができる県営住宅を整備する。

2 事業の内容

高度経済成長期に建設された県営住宅団地の老朽化が進んでいるため、計画的な建替えを行う。

24年度	対象団地	戸数
新規着手	熊谷玉井団地(Ⅲ期)、久喜青葉団地	207戸
継続事業	大宮東宮下団地、大宮砂団地、大宮長山団地(Ⅴ期) 浦和高層団地、入間霞川団地、本庄小島団地	586戸
事業完成	大宮植竹団地、大宮長山団地(Ⅳ期)、大宮七里団地 熊谷玉井団地(Ⅱ期)	448戸
借上型		55戸

3 平成24年度予算額 7,789,940千円

大宮七里団地（平成24年度完成予定）



本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業の推進

担当 市街地整備課

つくばエクスプレス沿線・本庄新都心整備担当

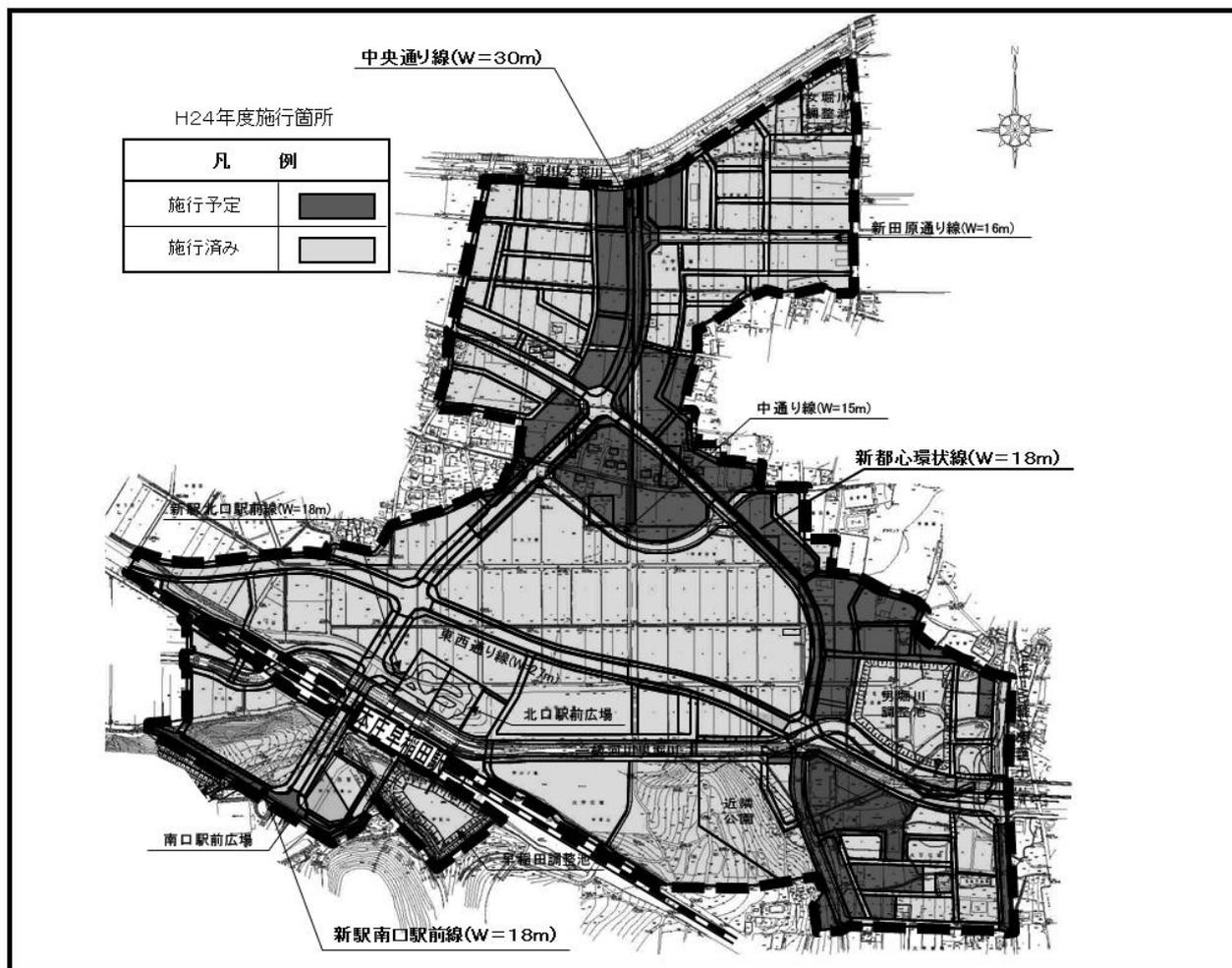
内線 5378

1 目的

上越新幹線「本庄早稲田駅」を中心とした面積64.6ヘクタールの整備を行い、早稲田リサーチパークと連携して、商業・業務施設の誘導や良好な住宅地の形成を図る。

2 事業の内容

平成24年度は、本地区の骨格を形成する中央通り線や新都心環状線の道路整備及び沿線の宅地造成の進捗を図る。



3 平成24年度予算額 991,572千円

※土地区画整理事業の施行者である都市再生機構に対する経費補助金

つくばエクスプレス沿線地域整備の推進

担当 市街地整備課

つくばエクスプレス沿線・本庄新都心整備担当

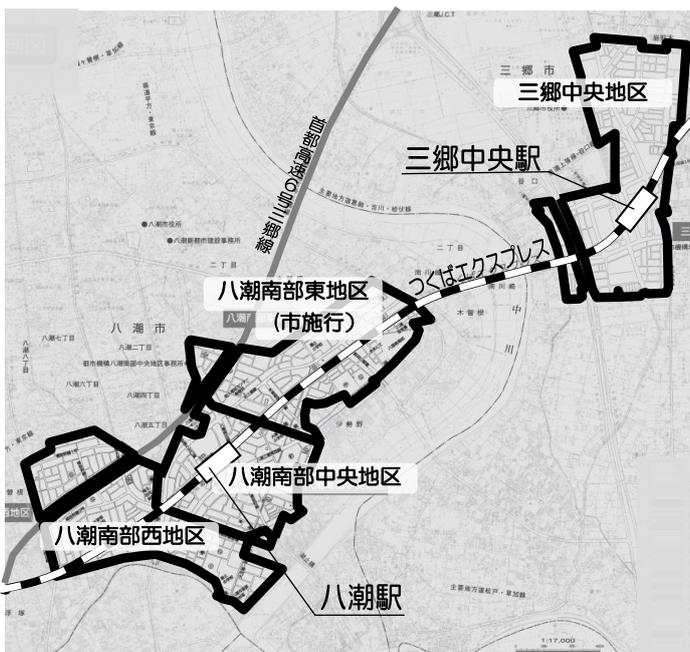
内線 5378

1 目的

つくばエクスプレス八潮駅及び三郷中央駅周辺において、都市基盤の整備と住宅地の供給を進め、地域の活性化を図る。

2 事業の内容

八潮市及び三郷市内のつくばエクスプレス駅周辺において、県、八潮市、都市再生機構が分担して、施行面積374ヘクタールの土地区画整理事業を実施している。



平成24年度の主な事業

(1) 八潮南部西地区 (埼玉県施行)

都市計画道路八潮三郷東西線の整備、宅地造成、建物移転補償及び2号調整池の整備

3,086,906千円

(2) 八潮南部中央地区 (都市再生機構施行)

都市計画道路八潮金町線、八潮三郷東西線、大原伊勢野線の整備、宅地造成及び建物移転補償

1,776,600千円

(3) 三郷中央地区 (都市再生機構施行)

地区北部の建物移転補償

373,400千円

3 平成24年度予算額

5,236,906千円

しらこぼと公園ホワイトビーチの整備

担当 公園スタジアム課 公園計画・事業担当
内線 5 4 1 1

1 目 的

しらこぼと公園の魅力アップを図るため、旧アイススケートリンクを活用した白砂の浜辺「ホワイトビーチ」を整備する。

2 事業の内容

(1) 設置面積

2,100㎡ (70m×30m)

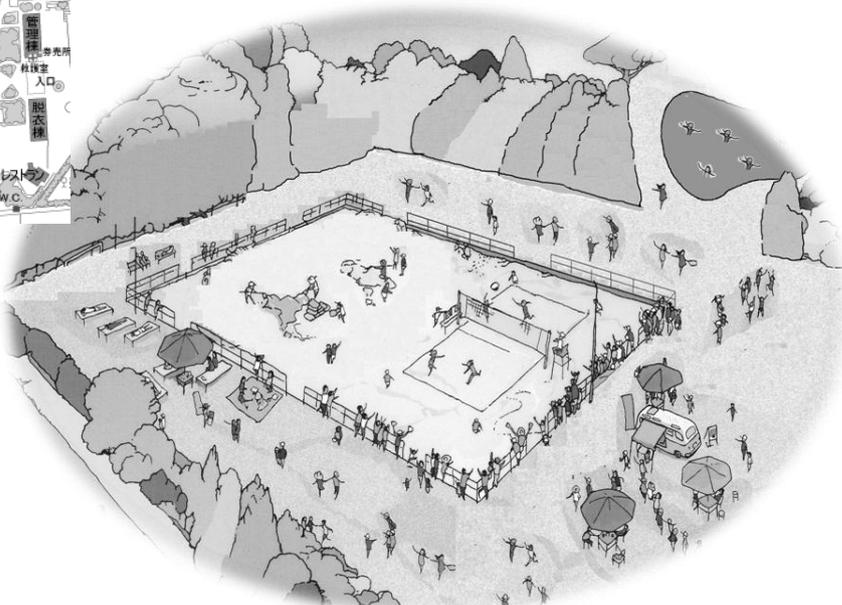
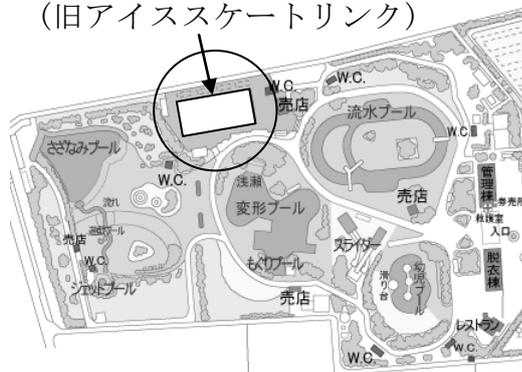
(2) 活用方法

夏季プール期間は、リゾートエリアとして公園利用者のくつろぎスペースや大きな砂遊び場として活用する。

その他の期間は、ビーチバレーなどのビーチスポーツのコートや砂上イベントスペースとして活用する。

3 平成24年度予算額 26,000千円

「ホワイトビーチ」
(旧アイススケートリンク)



※ホワイトビーチ整備イメージ

大宮公園小動物園の魅力アップの推進

担当 公園スタジアム課 公園計画・事業担当
内線 5411

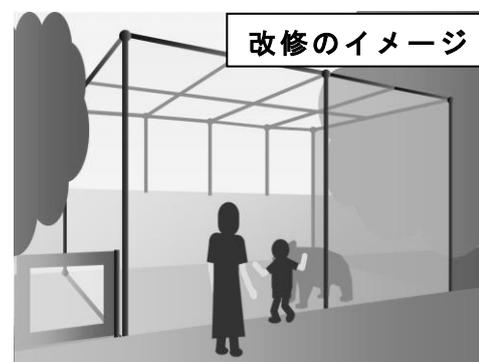
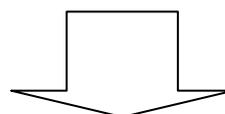
1 目的

大宮公園小動物園は昭和28年4月に開設され、平成25年には60周年を迎える。そこで、60周年を記念し、動物展示施設のリニューアルを行い、小動物園の魅力アップを図る。

2 事業の内容

大型動物の展示施設について、おりと柵による展示から、アクリル板を用いた無柵式の展示に改修し、動物がより間近に感じられ、臨場感あふれる施設とする。

3 平成24年度予算額 40,000千円



県営公園整備の推進

担当 公園スタジアム課 公園計画・事業担当
内線 5397

1 目的

都市環境の改善や人々のレクリエーションの場を提供し、都市生活にうるおいと安らぎをもたらすとともに、災害時の避難場所、復旧活動の拠点となる公園の整備を進める。

2 事業の内容

(1) 県東部地域の公園の拡張整備

計画的に整備を進め、3～5年の間に順次供用区域を拡張する。

<p>① さきたま古墳公園 造成、用地買収 平成29年春一部供用開始</p>	
<p>② 羽生水郷公園 造成、植栽、園路整備 平成29年春一部供用開始</p>	
<p>③ 権現堂公園 実施設計 平成28年春一部供用開始</p>	
<p>④ しらかばと公園 造成、植栽、園路整備 排水施設整備 平成27年春一部供用開始</p>	
<p>⑤ まつぶし緑の丘公園 造成、園路整備 平成25年春一部供用開始 (水辺ゾーン: 9ヘクタール)</p>	

(2) 開設公園の魅力アップ

ジョギングコース(和光樹林公園)やフロート式遊歩道(羽生水郷公園)、釣り桟橋(久喜菖蒲公園)等の改修を行う。

3 平成24年度予算額 3, 287, 514千円

新たな森づくりの推進

担当 公園スタジアム課 都市緑化担当
内線 5403

1 目的

平地林などの緑が少ない都市部においてまとまった緑を創出し「みどりの再生」を強力に推進するため、シンボルとなる「新たな森」（県営公園）を整備するとともに、既存の県営公園における植樹を実施する。

2 事業の内容

(1) 新たな森の整備

平地林などの緑が少ない県南東部地域において「新たな森」を整備する。

① 事業地

おおましんでん
春日部市大增新田地区

② 規模

約20ヘクタール

③ 整備イメージ

ア コンセプト

「ふれあいの森」

イ 目指す姿

- ・ みどり再生のシンボルとなる森
- ・ 地域の防災力を高める森
- ・ 多世代が交流できる森
- ・ 県民の参画による環境教育の場としての森
- ・ 県南東部の地域特性を活かした森

④ 平成24年度事業内容

実施設計、用地測量等



整備イメージ

(2) 県営公園における植樹

これまでの公園整備に伴う植樹に加え、「都市への植樹」として用途を指定した寄附などを財源とする「彩の国みどりの基金」を活用し、川越公園ほか7公園に植樹を行う。

3 平成24年度予算額 116,972千円

子育て世代への住まいの応援

担当 住宅課 企画担当

内線 5571

1 目的

本格的な少子・高齢社会の到来を踏まえ、子育て世代の定住や住み替えを支援することで、活力のある元気な住まいづくりを進める。

2 事業の内容

子育て応援住宅（戸建て分譲住宅）認定制度の創設等

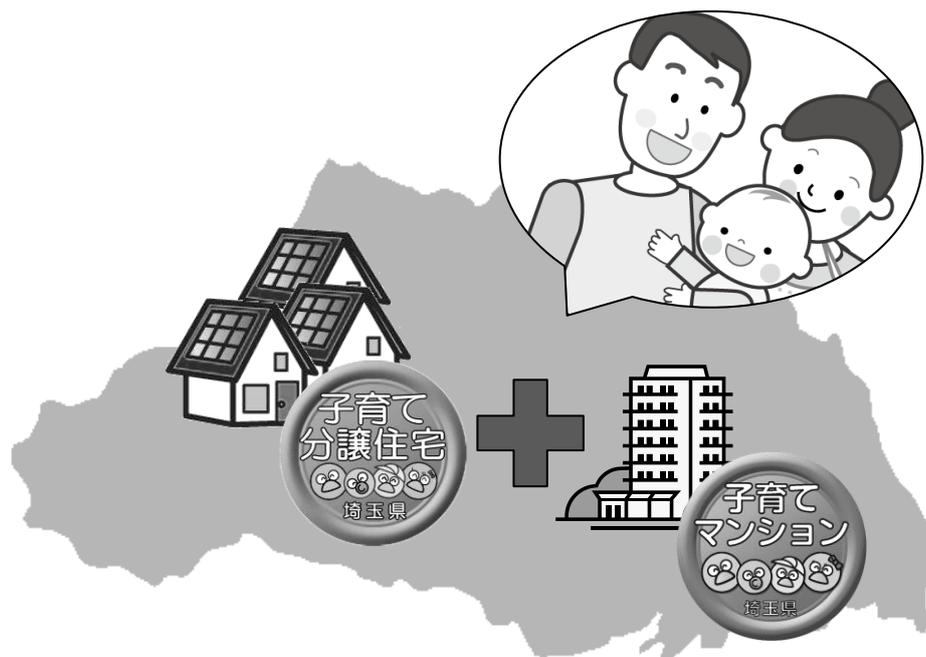
子どもを意識したソフト・ハード・立地を評価する「埼玉県子育て応援マンション認定制度」に、新たに戸建て分譲住宅の認定制度を創設することにより、更なる子育て世帯の定住促進と市場の活性化を図る。

子育て応援住宅（戸建て分譲住宅）のイメージ

- ・複数棟からなる分譲戸建て住宅団地を対象とする。
- ・子育てに配慮された間取りや安全性への工夫がある。
- ・子育てに配慮した住環境を維持する仕組みがある。
- ・子育てがしやすい住環境に立地している。

3 平成24年度予算額

925千円



既存県営住宅のバリアフリー化の推進

担当 住宅課 住宅経営担当
内線 5589

1 目 的

本格的な高齢社会の到来を踏まえ、県営住宅における高齢入居者等の円滑な移動を支援するため、既存県営住宅のバリアフリー化を推進する。

2 事業の内容

既存県営住宅1団地（5階建て・1棟）の各階段室の外側に、エレベーターを設置する。

（1）エレベーターの概要

4人乗り×3基

（2）対象団地

だいばら
八潮大原団地

3 平成24年度予算額

86,295千円

